

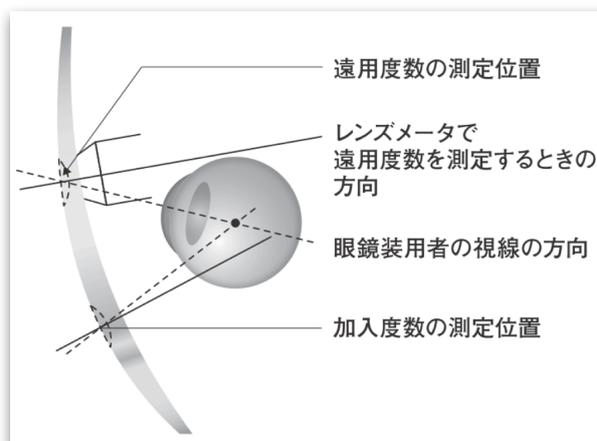
6 累進屈折力レンズとレンズメーターでの結果の乖離および測定の限界について教えてください

処方度数とレンズメータ測定度数との乖離

累進屈折力レンズをレンズメータで度数確認をした際、「処方度数」と異なる度数が測定されることがあります。理由は、視線の方向に装用状態を考慮した非球面補正が施されているためです。

<測定結果例>

- ①球面度数の処方レンズを測定したときに乱視度数が測定されることがあります。
- ②乱視度数処方では異なる乱視度数や乱視軸が測定されることがあります。

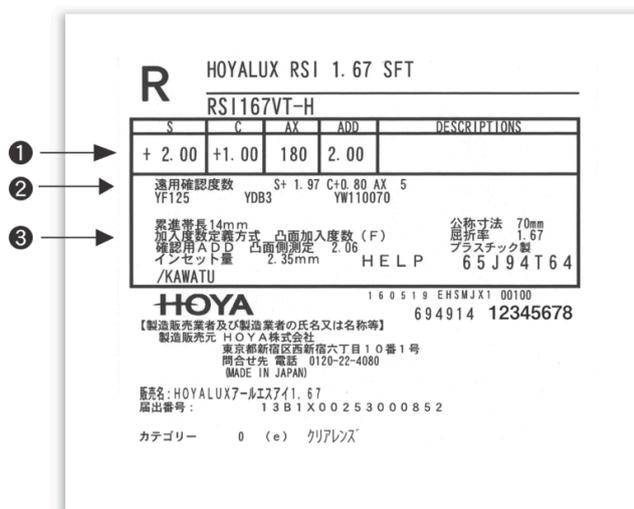


<レンズメーターでの測定限界の対処法>

多くの場合、眼鏡店では眼鏡を購入した方にレンズ袋を渡しています。レンズ袋には「処方度数」のほかに、レンズメータで実測される「確認度数」が表記されています。

対象となるレンズをレンズメータで度数を測定する場合には、「確認度数」を参照してください。

- ①処方度数
- ②確認度数
- ③加入度数定義方式
および確認用ADD



注：確認度数は0.01ピッチでの表記です。

レンズメータの測定表示が0.12, 0.25ピッチの場合には正確に読み取れないことがあります。